

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870105263
法人名	(有)MMC ドリームサービス
事業所名	グループホーム フレンド
所在地	松山市湯渡町3-18
自己評価作成日	平成23年8月10日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成23年9月2日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>1ユニット9名なので、利用者・職員間の信頼関係が深く、共同生活のなかで安心した生活を提供できている。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所は「いつも人の気配が感じられて、寂しさを感じない」ような環境作りが心がけておられる。又、「人と人のかかわりで心が豊かになるような支援」に取り組んでおられ、縫い物が得意な利用者がぞうきん等を縫ってくださったり、他利用者の洋服の裾上げ等をしてくださったり、他の方の分も洗濯物をたたんでくださるような時、職員は利用者に「ありがとうございます」と、感謝の言葉を伝えるようにされている。又、利用者は「いつもありがとう」と職員をよく労ってくださり、職員のやりがいにもつながっている。</p> <p>現在、利用者はみな起床が早く、全体的に朝が活動的であるため、事業所では入浴は午前中に行うように決めておられる。トイレの奥の戸を開けると、そのまま脱衣所へとつながる造りになっていて、利用者がトイレを使用し、そのまま入浴へつながることも多いようだ。お湯は奥道後の天然温泉の引き湯で、お若い頃から道後温泉に入る習慣のあった利用者の方もおられ、とても喜ばれているようだ。又、管理者は「みなさん肌がきれい、風邪をひくことも少ない。」と話しておられた。</p>
---

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	<ol style="list-style-type: none"> <li>ほぼ全ての利用者の</li> <li>利用者の2/3くらいの</li> <li>利用者の1/3くらいの</li> <li>ほとんど掴んでいない</li> </ol>	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	<ol style="list-style-type: none"> <li>毎日ある</li> <li>数日に1回程度ある</li> <li>たまにある</li> <li>ほとんどない</li> </ol>	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	<ol style="list-style-type: none"> <li>ほぼ全ての利用者が</li> <li>利用者の2/3くらいが</li> <li>利用者の1/3くらいが</li> <li>ほとんどいない</li> </ol>	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	<ol style="list-style-type: none"> <li>ほぼ全ての利用者が</li> <li>利用者の2/3くらいが</li> <li>利用者の1/3くらいが</li> <li>ほとんどいない</li> </ol>	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<ol style="list-style-type: none"> <li>ほぼ全ての利用者が</li> <li>利用者の2/3くらいが</li> <li>利用者の1/3くらいが</li> <li>ほとんどいない</li> </ol>	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	<ol style="list-style-type: none"> <li>ほぼ全ての利用者が</li> <li>利用者の2/3くらいが</li> <li>利用者の1/3くらいが</li> <li>ほとんどいない</li> </ol>	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	<ol style="list-style-type: none"> <li>ほぼ全ての利用者が</li> <li>利用者の2/3くらいが</li> <li>利用者の1/3くらいが</li> <li>ほとんどいない</li> </ol>		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム フレンド

(ユニット名) \_\_\_\_\_

記入者(管理者)

氏名

豊田 久美

評価完了日

平成23年8月10日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>			
1	1	(自己評価) 毎月のカンファレンスにて、運営方針について話し合い、理念である「心豊かに・穏やかに・自分らしく・地域と共に」を具体化し、日々現実に向けて、職員一同が取り組んでいる。	
		(外部評価) 開設時に法人代表と職員で話し合い作成された事業所理念は、玄関に掲示されており、事務室の職員が座る席からもよく見える。法人代表者、管理者は特に、理念の中の「心豊かに」の部分大切に考えておられ、介護計画を作成する際にも考慮されている。	
2	2	(自己評価) 地域行事に積極的に参加し、職員・利用者様の顔を覚えていただけるよう努めている。運営推進会議を通して、地域行事予定を聞き参加している。町内会にも属し、町内便りを頂いている。	
		(外部評価) 町内会に加入され、職員は町内の行事ごとの際には、地元の方達とともに活動されている。町内の夏祭りには、出店で職員が焼き鳥を焼いたり、ご家族も盆踊りを踊ったりされた。又、お隣の小学校の運動会には、利用者も競技に参加して地域の方や子ども達とも交流された。逆に、地域の方には、事業所の運営推進会議に参加いただく等して、お互いに協力し合っておられる。9月は、近くの土手で町内のいも炊き会があり、職員が参加することになっている。	
3		(自己評価) 運営推進会議にてグループホームについて深く理解していただけるような議題にし、地域の方にも分かりやすい内容にして話し合いをしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 毎月のカンファレンスを通して話し合いを行い、実際に地域行事への参加など、改善に取り組んでいる。運営推進会議では、取り組んでいる内容を報告し、地域の方や、ご家族に意見をいただいている。</p> <p>(外部評価) 事業所は、会議を「地域の方達と信頼関係が深まるような会議にしたい」とすすめておられる。会議には町内会長や民生委員の方が参加してくださっており、事業所からの活動報告に対して、感想や意見を出していただき、意見交換されている。事業所は会議の意見を受けて「今後どのように取り組んでいくか」ということを考えておられ、議事録にも記録を残しておられる。会議時、法人代表者は季節等を考慮した健康に関する豆知識をお話する等、参加者に役立つ情報も添えておられる。ご家族にも会議の案内を出しておられるが、ご都合等もあって参加を得ることが難しいようだ。</p>	<p>さらに、事業所を利用する側である利用者やご家族にも会議に参加いただけるよう働きかけを工夫してほしい。又、会議に「どのような人に参加してほしいか」「どのようなことについて話したいか」等の視点からも会議メンバーを検討されて、事業所のサービス向上にさらに活かせるよう、事業所が主体となって会議をすすめていかれてほしい。会議を通じて、事業所や認知症の理解者・協力者の輪を拡げていかれてほしい。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議の中で、市の担当者に取り組み等の話をしたり、助言をいただいている。町内会長や民生委員とも、密に連絡を取り、地域行事に参加している。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議時、市の担当者の方から、会議の内容等について他事業所の取組みを紹介していただいたり、「ホームの日常生活のことがよくわかるよう会議を工夫してはどうか」等、アドバイスをいただいた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 現在は、身体拘束を行っていない。過去に事例が1件あるも、職員間にて、拘束について勉強会をし、何度も協議しながら介護をしていき、ご家族さまにも理解を得て短期間で拘束を終了することが出来た。記録も整備している。</p> <p>(外部評価) 身体を拘束した状態で退院して来られた利用者について、事業所では、退院後間もない期間は身体拘束を行われたようだが、ご本人の状態を観察し、ご家族と相談したり職員で話し合いを重ね、居間について立でスペースを作り、ベッドを置いて、職員は細やかにご本人を見守る等、ケアでカバーできるような支援に努められた。さらに、日中の活動量を増やし、入眠剤の調整をしながら支援する等、生活や睡眠のリズムを整えつつ、ホームの日常生活を送ることで利用者の気持ちが穏やかになるよう配慮され、現在は穏やかな暮らしが送れるようになっている利用者の事例がある。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  毎月のカンファレンス・毎日の引継ぎを通して、職員間で確認を行っている。虐待についての勉強会を行う予定である。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)  実際に活用されている人はいないが、協力体制は整っている。制度の理解に関しては、職員全員で勉強会を行い理解を深めている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)  契約書の中に、利用者様の権利・義務について明記している。契約時には、口頭で分かりやすく説明を行っている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)  玄関に、意見箱を設置しており、気軽に意見を表せるようにしている。又、ご家族の面会時には、積極的にコミュニケーションをとると同時に、可能な限りご要望等お伺いするように努めている。  (外部評価)  ご家族の来訪時に、利用者の様子を見ていただきながら日頃の様子について報告されたり、毎月利用者個々の担当職員が、ご本人についての1ヵ月の様子や「喜ばれたこと」等を手紙に書いて送付されている。又、時々、写真等を同封しておられる。以前は、ホーム便りを年に4回発行されていたが、現在は職員の体制等のこともあって休止されている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見 や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			毎月のミーティングにて、それぞれの職員の意見や提案を 聞く機会を設けている。	
			(外部評価)	
			毎月行う勉強会は、職員が交替で担当しておられ、それぞ れの「勉強したいこと」をテーマにして、個々が責任を持って 受け持つようになっている。7月には管理者の交代があった が、これまで利用者とかかわってきた職員が管理者となった こともあり、チームワークもよい。管理者は職員に相談されたり 、又、管理者は、職員が困っていること等の相談に乗ったり 、ケアのアドバイスをしたりしてサポートされている。身体拘 束をしないケアの実践に向けて、職員がアイデアを出し、 協力し合って取り組むことで「職員のチームワークがより一層 よくなった」と法人代表者は感じておられた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、 勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やり がいなど、各自が向上心を持って働けるよう職 場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			毎月、各職員が自己目標をたて、目標達成に向けて日々、 努力している。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実 際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機 会の確保や、働きながらトレーニングしていくこ とを進めている	(自己評価)	
			職員研修プログラムを作成しており、重ねて法人内での勉強 会、法人外への研修参加も行うようにしている。又、研修で 習得したことを、職員間で共有できるよう研修報告を行って いる。新人職員に関しては、毎日の研修記録、現職員の 指導・評価をおこなっている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する 機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互 訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上さ せていく取組みをしている	(自己評価)	
			グループホーム連絡協議会の研修へ参加し、交流を持つよ うにしている。過去に何度かは相互訪問は行ったが、定期化 はしていない。	
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っ ていること、不安なこと、要望等に耳を傾けなが ら、本人の安心を確保するための関係づくりに 努めている	(自己評価)	
			ご本人自身の希望要望を重視したアセスメント、懇談の機会 を持つように努めている。又、担当者を中心に、本人の思い に気づくように、目・気配りに努めている。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 初期段階で、管理者を中心にご家族の希望を聞く機会を作っている。又、面会時の会話を積極的にとり、ご家族の要望を職員間で共有している。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 在宅介護・リハビリ等のさまざまなサービスを視野に入れた対応に努めている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 理念を元に、一つの家庭として日々の生活を共に送ることを基本として業務に努めている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族が面会し易い環境作りに努めている。又、運営推進会議にも参加していただけるよう声かけし、意見交換し易い関係作り、ホーム作りに参加していただけるよう努めている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 入所前の職員全員での会議、体験入所など取り入れ、慎重に初期段階での対応に心掛け馴染みながらの支援に努めている。外出などでは、ご本人が慣れ親しんだ場所を目的地に選んだりしている。 (外部評価) ご姉妹と一緒に外食や美容院に出かけたり、外泊される利用者もいる。又、学生時代の友人が訪ねて来られて、その時代のお話がはずむようなことある。入居してから、子どもの頃同じ学校に通った同級生であったということが分かり、その時代の懐かしいお話をされるような場面もみられるようだ。ご自宅のある地区の文化祭に出かけたこともあり、利用者は知り合いの方に来て懐かしがられたようなこともあった。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者様同士で、お世話をしたり協力して作業を行っている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 契約終了後も、電話での連絡・手紙等で継続した関わりを持つようにしている。又、職員がご本人に会いに行ったりしている。病院への長期入院の方に対しては、退院時の支援を行っている。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の会話の中や、様子などで、希望等の把握に努めている。日々の生活の中で、ご利用者に対する「気付き」を大切にしている。 (外部評価) 職員は日々の利用者とかかわりの中で、利用者一人ひとりの性格や個性・思いの把握に努めておられる。職員は、利用者個々の好まれることや嫌なこと等をよく知っておられ、又、利用者の「自分のことは自分で」という気持ちや思いを大切にされた支援に努めておられる。介護認定更新時に日常生活動作についてアセスメントされている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) ご本人はもちろん、ご家族との会話を通して、生活歴・暮らし方などの把握に努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) ケース記録・生活日誌・夜勤記録・バイタルチェック表・連絡帳をもとに、日々の変化が暮らしの中で把握できるよう引継ぎを徹底して行っている。又、地域行事も含め、ご利用者が(出来ること)に参加できるように支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人とは日々のかかわりの中で、ご家族とは面会時などで意向を伺い、センター方式を利用して介護計画を作成し、6ヵ月毎の見直し変更と、3ヶ月毎にモニタリングを行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>介護計画は、6ヵ月の長期目標に沿って、3ヵ月ごとの短期目標を設定しておられる。</p>	<p>事業所では、モニタリングの頻度について、さらに細かく行うことを検討されており、今後さらに、現状に即した介護計画の作成に努めていかれてほしい。又、計画内容については、利用者やご家族とも相談しながら、利用者個々の思いや意向等も十分に反映して、よりご本人主体の計画が作成できるよう努めていかれてほしい。</p>
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ケース記録・生活日誌・夜勤記録・連絡帳をもとに、日々の変化・状況の把握が職員間で共有できるよう努めている。介護計画の見直しがある場合は、カンファレンスを行い話し合っている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人の希望や状態、ご家族の意向に応じて、さまざまな対応が出来るよう努めている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>地域の公園を散歩したり、近隣の学校内での地域行事に参加している。又、地域の方に来訪していただき、書道やサロン等を行っている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人・ご家族の希望を優先している。現在は、全てのご利用者が、ホームの医療連携病院を主治医としている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>月に2回、協力医が往診に来てくださっており、利用者を診てくれるようになってきている。調査訪問時、協力医の往診があり、職員が利用者の状態を医師や看護師に伝えながら、利用者は順番に医師に診てもらっていた。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>1階デイサービスの看護職員が直ぐに対応できる体制が整っている。又、日々の変化等、看護職員に報告するように連携がとれている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ホームの主治医と入院医療機関とで、情報交換をしていたいて、適切な医療が提供されており、退院してからも安心して過ごせるようにしている。又、月2回の主治医の訪問診療時に、少しの変化でも報告している。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>身体的には安定されている方が多いが、現段階でご家族の終末期の意向はアンケートで聞き出している。ターミナルケアに対しては、研修に参加し職員の知識を高めるよう努めている。今後は、看取りの指針を掘り下げていくようにしたい。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>終末期のあり方についてご家族にアンケートを取り、多くのご家族が「最期までホームで過ごさせてほしい」との希望があったようである。又、利用者からも希望があり、事業所では利用者ご家族の意向に沿った支援を行いたいと考えておられる。</p> <p>事業所の看取りの指針について、事業所の理念をもとに、より事業所の特徴を踏まえた支援ができるように、指針を見直したいと考えておられる。今後、ご家族とも看取り等について話し合ったり勉強するような機会を作っていかれてほしい。利用者が最期までその人らしくいられるように、支援できるような体制を作っていかれてほしい。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 緊急時や事故発生時のマニュアルをもとに、カンファレンスにおいて確認しあっている。又、緊急連絡網の周知徹底をしている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 避難訓練(日中・夜間それぞれ想定しての)を定期的に行っている。運営推進会議で議題に取り上げ、町内会とも連携がとれるように話し合っている。	10月には、地域の方達も一緒に避難訓練に取り組みたいと考えておられる。管理者は、地域の方には「利用者の避難の手助けをお願いしたい」と話しておられた。事業所の立地条件や利用者の状態、時間帯等、いろいろな場面を想定して訓練を重ね、すべての利用者・職員の安全を確保できるような方策を見つけていかれてほしい。
			(外部評価) 地域の自主防災訓練に参加されて、利用者と一緒に煙が舞っている場所での避難を体験されたり、水消火器を使って消火訓練等も体験された。事業所にはAED(自動体外式除細動器)を設置しておられる。運営推進会議時、民生委員の方より「消防車や救急車が事業所の場所に入る道が分からないかもしれない」と、ご自身の経験をもとに教えてください、いざという時には職員が大きな道に出て誘導することに決めておられた。事業所では10月と3月に避難訓練を行う計画になっている。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 言葉掛けや、対応はしっかり出来ている。ご本人の生活歴などを考え、ご本人の人格を尊重した対応をカンファレンスで話し合っている。	
			(外部評価) 事業所は「いつも人の気配が感じられて、寂しさを感じない」ような環境作りに心がけておられる。又、「人と人のかかわりで心が豊かになるような支援」に取り組んでおられ、縫い物が得意な利用者がぞうきん等を縫ってくださったり、他利用者の洋服の裾上げ等をしてくださったり、他の方の分も洗濯物をたたんでくださるような時、職員は利用者に「ありがとうございます」と、感謝の言葉を伝えるようにされている。又、利用者は「いつもありがとうございます」と職員をよく労ってくださり、職員のやりがいにもつながっている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 日々の会話を大切に、ご本人の言葉・表情で思いや希望に気付くように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) ケアプランに沿って、生活のリズムに配慮しながらご本人の ペースを大切に、自分自身のホームでの生活のリズムが確 立されるように支援している。希望に対して直ぐに対応が出 来ない時には、個々にあった声掛けをして納得していただ けるよう心掛けている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよ うに支援している	(自己評価) ご本人・ご家族の意向に合わせて、その人らしい身だしな みができるようにしている。又、外出時には、お化粧品など をしておしゃれの楽しみをもてるよう支援している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 配膳・盛り付け・食器洗いなどの声かけを行い、皆で協力し て行っている。食べたいものの希望を伺い調理している。	
			(外部評価) 「ケアに力を入れるため」ということもあり、事業所は日曜日、 年末年始、お盆以外の昼・夕食は、できあがった食事が届く ようになっている。日曜日は利用者と相談しながらメニュー を決めておられ、最近は利用者から「冷麺が食べたい」と希 望があり、手作りされた。調査訪問時には、評価調査員を座 席まで案内してくださったり、食後は職員と一緒に後片付け をしておられる利用者の様子が見られた。事業所は「口から 食べる」ことを大切にされており、時間をかけて職員が介 助している場面が見られた。今後さらに、利用者が「食 事を楽しむ」という観点から、事業所の食事支援について グループホームの特長等も踏まえ工夫できる点はないか、 ご家族も含めて話し合う機会を作ってみてはどうだろ うか。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通 じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習 慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量・水分量とも適切に確保できるよう支援している。 ご本人の好きな食べ物・飲み物を伺い提供できるように している。糖尿病をお持ちの方には、食事量を考えたり、 定期的に血液検査を行っている。誤嚥や咽の危険のある 方には、きざみやとろみの対応をしている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) 毎食後の口腔ケアは、声かけ・見守り・介助を行い徹 底している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	<p>排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>排泄パターンの把握及び自立支援のため、個別でのカレンダー式のチェック表を作り、時間帯等一人ひとりの利用者様に合わせた対応をしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者が発する言葉やしぐさ等を察知して、トイレに誘導して排泄できるよう支援されている。介護用品はご家族が準備してくださっており、できるだけご家族の負担も考えて、サイズや必要性等についても気を付けておられる。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>適度な運動や食事・水分の管理で対応している。便秘が続く場合は、看護師に相談して下剤服用や浣腸・座薬の処置をおこなっている。</p>	
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>基本的には、時間帯をきめていない。ご本人の希望に合わせて入浴していただいている。排泄の失敗があった場合は、随時入浴介助を行っている。おおむね、週3回を目安にしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>現在、利用者はみな起床が早く、全体的に朝が活動的であるため、事業所では入浴は午前中に行うように決めておられる。トイレの奥の戸を開けると、そのまま脱衣所へとつながる造りになっていて、利用者がトイレを使用し、そのまま入浴へつながることも多いようだ。お湯は奥道後の天然温泉の引き湯で、お若い頃から道後温泉に入る習慣のあった利用者の方もおられ、とても喜ばれているようだ。又、管理者は「みなさん肌がきれいで、風邪をひくことも少ない。」と話しておられた。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>夜間不眠の方には、日中の関わり方(適度な運動や不穏にならないように密に関わる等)を工夫している。夜間は、眠前に足浴をしたり、ナイトミールを補給したりと安心して入眠できるように支援している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方箋は個別ファイルに綴じ、職員が何時でも目を通せるようにしている。変更があった場合には、連絡帳・申し送りで報告を行い、副作用を理解した上で、変化等の様子観察に努めている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 一人ひとりが役割を持ち、助け合いながら日常生活が送れるように努めている。散歩・外出の機会を設け、楽しみ・気分転換を図れるように努めている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 買い物・ドライブ等の外出を行い、ご利用者の希望を取り入れたイベントを企画している。又、担当者が中心となり個別支援にも努めている。	
			(外部評価) 天候や気温等をみながら、散歩に出かけておられる。お花を好む利用者もあり、季節に応じて近くの公園や土手等を散歩されている。又、おやつタイムがお好きな利用者は、時々喫茶店にも出かけておられる。道後の足湯に出かけたり、商店街を歩いたりすることもある。今後さらに、利用者個々の行きたいところや懐かしい場所を探り、出かけてみるような支援にも取り組んでいかれてはどうか。ご家族とも相談しながら、取り組みをすすめていかれてほしい。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) ご利用者一人ひとりに応じて、お小遣いといった形で提供している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 手紙を書きたい方には書いていただいたり、電話の希望があれば職員支援のもとかけていただいている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) リビングには、ご利用者の方の作品・写真等を飾っている。ソファやテーブル等、快適なスペースが確保できるよう配置している。家具は、温もりのある木の家具を使用している。	
			(外部評価) 居間や階段には絵画が飾られていて、利用者や職員の心を癒してくれる。居間には、高さの違うソファを配しておられたり、大きいテレビを置いておられる。空間を広く取って、車いすでも移動しやすくされ、食卓テーブルは3つに分かれて、それぞれご自分の席で食事をされていた。1階のデイサービスに行って、デイの利用者とともに活動するようなこともある。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングでご利用者同士で話をしたり、居室で自分の時間を過ごしたりと、ご本人の思い通りに過ごせるよう支援している。	
			(外部評価) 基本的な家具は持ち込みにしており、ご本人の馴染みの家具を使用していただいている。ご自分で作った作品や写真を飾り、家庭にいる雰囲気作りに努めている。	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 基本的な家具は持ち込みにしており、ご本人の馴染みの家具を使用していただいている。ご自分で作った作品や写真を飾り、家庭にいる雰囲気作りに努めている。	
			(外部評価) お若い頃から大事に使っておられたタンスを持ち込んでいらっしゃる方は、衣類をしまう引き出しの場所が決まっているようだ。ベッドのふちに鈴を付けて起き上がった際、職員が気付けるようにされていた。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) バリアフリーで、リビングには手すりの設置、浴槽には滑り止めマットを使用している。トイレは3箇所あり、お待ちいただくことなくすむようになっている。又、場所が認識出来るように「トイレ」と大きく表示している。	
			(外部評価)	